耶蘇天誅記附録　一之四

己拾四

内閣文庫
和書　類
二五〇三四　號
六　冊
九三　函
二二　架

内閣文庫
番號　和 25064
冊數　6（6）
函號　193　587

共六

耶蘇天誅記附録巻之一

目録

一揆初発討死手負之事
十二月二十日討死手負之事
正月元日討死手負之事
二月二十一日討死手負之事
有馬在陣之浪人姓名之事

山名氏蔵書

日本政府図書

耶蘇天誅記附録一

肥嶋嵩　村井昌弘輯録

寛永十四丁丑ノ年耶蘇宗一揆初発之刻
松倉寺沢両家之諸士於高来天草二郡
討死并負員数姓名之事

一　松倉長門守勝家家人討死士十五人并負士
八人雑兵員数不知

右諸士姓名如左

○林兵左衛門十月廿五日於北有馬村被害○富岡弥左エ門同日夜於深江村被害○藤室加兵衛同日夜於堂崎村被害○安井三郎右衛門同日於小濱村串山村之境被害○山内小右衛門同上○高橋武右衛門同日夜於小濱村被害○新友与兵衛十月廿六日於深江村討死○堀九兵衛同日於嶋原城下被害○石原源助同日於同所討死○生熊助之丞

同日於松門外討死○高畑次郎大夫十一月十二日於秋谷村討死○入江与右衛門同上○高橋弥次右衛門同上○松崎六之丞同上○船次田原又助同上以上討死○岡本新兵衛十月廿六日於深江村手負○砂村新右衛門同上○松田多右衛門同上○荻野右馬助同上○中西甚五兵衛同上○吉本少輔七同日於嶋原城外手負○木村弥部

次同上○松田半大夫　十一月十四日於杉谷
村手負以上手負○
右松倉家死傷惣テ二十三人
一寺沢兵庫頭忠高家人討死士十八人手負士
十五人雑兵員数不知
右諸士姓名如左
○並河九兵衛十一月十四日於嶋子村討死
○林又右衛門同上○林小十郎同上○太野

助右衛門同上○小川伊左衛門同上○三宅
藤兵衛同日於本戸郷討死○佐々小左衛門
同上○川崎伊右衛門同上○青木勘右衛門
同上○小栗木工左衛門同上○佃八郎兵衛
同上○今井十兵衛同上○細井源之丞同上
○三宅藤兵衛家来二人 吉村兵右衛門 山本五兵衛 同上
○岡嶋次郎左衛門家来 村上平大夫 同上○岡原
藤兵衛十一月廿二日於富岡城外討死○上

月八助同上以上討死

○岡嶋次郎右衛門十一月十四日於木戸之際手負○関右京同上○並河太左衛門同上○古橋小助同上○石川利左衛門同上○原田又助同上○福長長助同上○沢木七郎兵衛同月廿二日於富岡城外手負○川岸俊右衛門同上○山原作左衛門同上○塩田市右衛門同上○石川傳右衛門同上○石川九一郎同上以上 異本記野子平右衛門田代治左衛門十一月二十二日高岡城外手負 未考手負

右寺沢家死傷惣士三十三人

寛永十四丁丑年十二月廿日有馬原城惣攻之刻諸家之人数討死手負員数巨細姓名大略之事

立花左近将監忠茂家人討死士廿八人 雑兵

八十四人手負七八十九人雑兵二百三人
此内姓名分明之士如左
○立花三左衛門○十時吉兵衛○油布孫左
衛門○小野掃部助○吉廣善兵衛○佐田清
兵衛○橋爪新五兵衛○渡部次郎右衛門○
綾部友兵衛○岡田久右衛門○松田三郎右
衛門以上討死
○岡田修理○古屋宮内○安友弥三右衛門

○齊藤勘右衛門○油布三五兵衛○立花三
大夫○立花左京○竹廻利兵衛○十時太左
衛門○牧作右衛門○渡吾右衛門○堀善右
衛門○小山田長兵衛○田原加大夫○原友
左衛門○長井内藏丞○園部新右衛門○油
布庭之丞○野間六左衛門○小野九郎兵衛
○福嶋市兵衛○大和甚右衛門○陵友市兵
衛○戸次吉左衛門○十時花平次○松田弥

次右衛門○反松太郎左衛門○向弥次兵衛
○安友左京右衛門○鳥居九左衛門○十時
主馬○井部木工兵衛○中村太郎左衛門○
曽我六太郎○石田太左衛門○油布勘兵衛
○川村長三郎○野上治兵衛○安友助四郎
○井川権平○生田八兵衛○江嶋長兵衛○
岡齋助○臼杵弥次兵衛○田原庄大夫○右
田忠左衛門○戸次十郎兵衛○青木七兵衛

○立花一学○坂本三之助○坂本縫之助○
梅原太郎右衛門○戸次孫八郎○坂本兵之
丞○安竹兵五郎○大江勘解由○安田弥次
右衛門○津田五郎兵衛○西原権之丞以上
手負
一右立花家花傷惣テ三百八十四人
一鍋嶋家諫早豊之前手者討死足軽以下四十人
手負上下六十二人

此内姓ノ分明之士如左

○岸川太郎左衛門○馬渡安右衛門○馬渡
市兵衛以上手負

一同家鍋嶋若狭手ノ者討死足軽以下十八人手
負足軽下部二十五人

右鍋島一家死傷惣百四十五人

一松倉長門守勝家々人討死上下七人手負足
軽以下二十八人

此内姓名分明之士如左

○奥田左京○岸田七右衛門○服枝亨右衛
門以上討死

右松倉家死傷惣三十五人

一諸家在陣使番之内討死上下三十人手負上
下二十二人

此内姓名分明之士如左

○有馬左衛門佐康純家人三井丹解山尾五

左衛門○松平本姓浅野安藝守光晟家人長谷川
久太郎以上討死

一諸家使者疵傷惣五十二人

右諸家浪人之内討死士八人手負士十九人

此内姓名分明之士如左

○村井十兵衛○村井弐三郎○蜂屋四郎右
衛門○中野助右衛門以上討死
○村井四郎兵衛○大原源右衛門以上手負

右諸家浪人死傷惣二十七人

寛永十五戊寅年正月元日有馬原古城
惣攻之刻諸家之人数討死手負及数百
細姓名大略之事

一有馬兵部大輔忠頼家人討死士十七人手負
士六十七人推兵配テ別

右諸士姓名如左

○村上〻郎左衛門○白江作右衛門○松田
作之丞○中善右衛門○秋六右衛門○津田
九郎兵衛○駒田弥左衛門○関所万三郎○
池田勘之衛○川村庄兵衛○陸田十助○明
石又右衛門○渋谷小左衛門○朽田九郎右
衛門○坂権兵衛○久住又右衛門○木庄新
七郎以上討死
○有馬主水○同監物○同内記○陸田喜之
丞○石田主殿○吉田隼人○中嶋吉三郎○
渡瀬将監○渋谷五郎八○佐松兵左衛門○
柳生八郎左衛門○水野善之丞○三浦惣左
衛門○馬関加之丞○山口新左衛門○土屋
金左衛門○西沢左近右衛門○飯沼与左衛
門○山崎左司兵衛○佐伯六友衛門○佐松
又右衛門○渡瀬平太夫○渡瀬平八○三浦
勘八○富田花八○菅野次郎右衛門○土仙

三郎○宇保助右衛門○中村右衛門三郎○宮川長右衛門○武広九太夫○岡村弥々之助○萩野吉左衛門○八嶋金右衛門○川端市太夫○坂本七郎右衛門○尾関太郎兵衛○平井三郎兵衛○田中木二助○内山左内○松井十兵衛○樋田九兵衛○樋田市左衛門○下村加右衛門○佐松伊左衛門○徳田平之丞○渡辺一郎右衛門○嶋田九郎兵衛

○山左広大夫○長谷七右衛門○調所十三郎○坂本左右衛門○坂垣七之助○広井七郎右衛門○余田惣右衛門○上原少右衛門○走広九兵衛○市村半之丞○中村勘左衛門○伊広左源太○郡久太郎○竹村十左衛門○平田太左衛門○久坂長兵衛○吉田佐右衛門○伊吹一郎右衛門○山嶋十兵衛○戸田市十郎○坂本金右衛門○長谷源右衛

門○堀江一郎兵衛○飯田助大夫○武飯吉
兵衛○湯山四郎右衛門以上手負
一同家有馬内記手者討死士四人手負士十四
人雜兵記テ別
　右諸士姓名如左
○鳴加助○松下門三郎○加飯傳助○竹内
太郎左衛門以上討死
○杉山惣左衛門○堤利兵衛○福原傳右衛

門○杉山吉十郎○石田彦左衛門○吉田治
兵衛○坂井作十郎○高九左衛門○尾川伊
左衛門○溝口治兵衛○吉田庄右衛門○内
飯清左衛門○加飯傳兵衛○堤友郎八以上
手負
一同家同人手浪人衆討死士十二人手負士十
七人雜兵記テ別
　右浪士姓名如左

○小西九兵衛○富永与左衛門○稲田卿左
衛門○水田七左衛門○岡田市左衛門○下
川善兵衛○香川長十郎○陸田加右衛門○
加藤善兵衛○田中孫助○藤井与五郎○杉
木村石衛門以上討死
○乚鴫勘爽○下松門三郎○竹田太左衛門
○加藤傳助○小西九郎兵衛○柳治太夫○
川渡平六郎○下川半十郎○塚本山三郎○
内海甚三郎○玉宮七左衛門○三枝安兵衛
○中尾六左衛門○岸原藤兵衛○井上伊左
衛門○富永角兵衛○富安市助○垣嶋長兵
衛○市岡理右衛門○桜井十左衛門○横山
権兵衛○井原治左衛門以上手負
右有馬一家諸士之外雑兵討死七十九人雑
兵手負三百六十四人
右有馬一家死傷上下惣テ五百七十四人

一鍋嶋家多久美作守者討死上下五十三人手負上下五百六十二人
此内姓名分明之士如左
○南里右近○同四郎左衛門○蒲原弥右衛門○鶴田五郎兵衛以上討死
○栢浦一右衛門○福地内蔵助○鶴田又右衛門○同角左衛門○成冨与六左衛門○徳永金左衛門○田代石衛門作以上手負

一同家鍋嶋淡路鍋嶋安藝両手者討死上下百四十五人手負上下六百十六人
此内姓名分明之士如左
○深堀正左衛門○上野治左衛門○宮市左衛門以上討死
○福地六郎左衛門○陣内七郎兵衛○阿波佐太夫○渡辺五郎右衛門○野母云左衛門
○岸五郎兵衛○石井三左衛門○堤八兵衛

以上手負

一 同家慶友若狭手ノ者討死上下四十二人手負
上下百五十人
　此内姓名分明之士如左
○大嶋刑部左衛門討死
○岡部七右衛門○菅清左衛門以上手負

一 同家諫早豊前手者討死上下四十八人手負
上下百九十七人
　此内姓名分明之士如左
○松本太郎左衛門討死
○秋野甚左衛門手負

一 同家鍋嶋中務手者討死上下二十一人手負
上下四十七人

一 同家鍋嶋右近手者討死上下三人手負上下
四十二人

一 同家成富十右衛門手ノ者討死足軽三人手負

下卯四人

一 同家成富三郎兵衛与ノ者討死上下 十七人手
負上下三十二人

一 同家関将監与者討死足軽下部七人手負上
下三十九人

一 同家鍋嶋五郎左衛門与者討死上下四人手
負上下三十人 一本曰諸岡左兵衛討死

一 鍋嶋紀伊守元茂同甲斐守直澄両旗本討死

上下五十九人手負上下四百二十九人
此内姓名分明之士如左
○鍋嶋帯刀○福地三左衛門○大木傳吉以
上討死
○鍋嶋傳兵衛○有馬左馬助○成松新右衛
門○村上源大夫○山本甚右衛門○川嶋太
郎左衛門○大木勝左衛門○同勝兵衛○福
地勘兵衛○鍋嶋又兵衛○土肥勘解由○鍋

嶋利兵衛○小川玄碩○池野与兵衛○下村
長兵衛○馬渡傳右衛門○石賀八郎左衛門
○池野十三郎以上手負
右鍋嶋一家討死三百八十五人手負二千
百六十九人惣死傷二千五百十七人
一松倉長門守勝家々人討死上下百四十三人
手負上下二百三十三人
此内姓名分明之士如左

○中沢孫右衛門○伊吹平八○槙田長兵衛
○近藤源左衛門○石井勘七○多久市左衛
門○柴田七兵衛○村中惣兵衛○稲生半兵
衛○黒野花左衛門○岡田新左衛門○小川
長兵衛○千賀九郎兵衛○岩本五右衛門○
坂巻治右衛門○鈴木治右衛門○山川半左
衛門○金沢角右衛門○下司庄八以上討死
○伊藤半右衛門○鵜田太左衛門○矢嶋与

左衛門○長屋助左衛門○佐野惣左衛門○
廣田六大夫○野中孫左衛門○岡崎傳左衛
門○西尾七郎兵衛○伊知地文左衛門○成
瀬源右衛門○三浦十右衛門○天方又左衛
門○菅加兵衛○鴨野兵友太○宮崎六郎兵
衛門○岡田新九郎○福西庄右衛門○小幡
勘之進○熊部小兵衛○由利孫右衛門○畎
村一郎兵衛門○平田権兵衛門○吉良勘太

夫○程嶋久大夫○小川伊織○宇田右馬助
○杉山五郎八○太田権右衛門○井村助兵
衛○山本兵之助○高屋兵内○岡村源左郎
○西尾弥八郎○塩塚加左衛門○佐野長十
郎○岡田作左衛門○堀助作○木村勘右衛
門○石井権之丞○村兵大夫○木村弥平次
○安友吉兵衛○安友内蔵助○黒野与兵衛
○安友傳兵衛○向石市郎左衛門○堀池茂

右衛門○千賀角左衛門○武友七左衛門○原兵
左衛門○原久右衛門○紫田庄人○坂田六
左衛門○有馬弥平次○佐々平左衛門以上
手負

一同家浪人衆討死十二人手負七十九人
此内姓名分明之士如左
○久米大学○井関又助以上討死
右松倉一家討死四十五人手負二百五十

一　二人惣テ死傷三百九十七人

一板倉内膳正重昌家人討死上下五人手負上
下二十四人
此内姓名分明之士如左
○堀内庄左衛門○渡辺佐左衛門○佐友四
郎左衛門以上討死
○小林九兵衛○浅井六左衛門○赤垣源左衛
○小川又左衛門○伊友半之丞○武田七郎

左衛門以上手負
一板倉周防守重宗家人加賀手負上下八人
此内姓名分明之士如左
○牧野善兵衛○新家弥五左衛門○福持九大
夫○加賀山一郎左衛門○石田善兵衛以上手
負
右板倉両家死傷惣三十七人
一諸家使者之内討死上下三十四人手負上下
四十八人
此内姓名分明之士如左
○松平本姓黒田右衛門佐忠之家人坪田庄右衛
門○松平本姓浅野安芸守光晟家人小山田内蔵
丞○細川越中守忠利家人伊友十之允捷山
助之進○寺沢兵庫頭忠高家人関善左衛門
以上討死
松平本姓毛利長門守秀就家人国司下総手負

○石谷十蔵貞清家来湯淺角左夫午貞
石諸家使者死傷都テ八十二人
寛永十五戊寅年二月二十一日原古城
寄手之陣中夜討総来之刻諸家之人救
討死手負員救臣細姓名大畧之事
一松平本姓里田右衛門佐忠之家人討死上下三十
八人手負上下百六人

此内姓名分明之士如左
○里田監物○同佐左衛門○小川縫殿助○
菅勘兵衛○郡勝大夫○新見太郎兵衛○村
沢孫左衛門○杉山文大夫○庄林八右衛門
○原吉三郎○牧野喜之丞○浦野半平○二
神七大夫○山良兵馬以上討死
○落合勘左衛門○氏紫四郎右衛門○同孫平
次○杦山所左衛門○户田角左衛門○稲葉九

郎右衛門○高屋久右衛門○井口千右衛門
○二神九大夫○本多五郎右衛門○土橋三
四郎○岩佐安兵衛○吉田久大夫○岡長三
郎○舟引久之丞○馬杉小十郎以上手負
一里田甲斐守長與家人討死十二人手負上下
十二人
此内姓名分明之士如左
○臼杵木工助○臼杵茂九郎以上討死

○畑源左衛門○成田仁兵衛○太田太左衛
門○松田孫太夫以上手負
一里田市正隆政家人討死上下十五人手負上
下六十四人
此内姓名分明之士如左
○明石権之丞○吉永平之丞○廣瀬清兵衛
○松橋次郎九郎○吉永七兵衛○中村四郎
右衛門○塩川六郎兵衛以上討死

○吉田壱岐○明石九大夫○辻新左衛門○吉
田馬大夫○同六郎大夫○辻半三郎○黒田
惣右衛門○弓削八郎右衛門○廣瀬作大夫
○松岡庄大夫○嶋井市大夫○野中友之助
○東郷茂左衛門○高槻勘大夫○村上又左
衛門○神崎庄右衛門○樋口仁左衛門○庄田
清左衛門○三好九郎右衛門○上田四郎左衛
門○木村市左衛門○中村三郎九衛門○吉田

太郎左衛門以上手負
右黒田一家討死五十五人手負百八十二
人惣死傷二百三十七人
一鍋嶋信濃守勝茂家人討死上下三十五人手
負上下九十四人
此内姓名分明之士如左
○多久縫殿○秀嶋四郎左衛門○石井九郎
右衛門○木下孫右衛門以上討死

○大木主計○亀川庄右衛門○村保作右衛門○成富権之丞○松浦源右衛門○石丸九郎左衛門○牛嶋与惣右衛門○赤司清之丞○馬渡三郎右衛門○田崎源之丞○牧口傳之丞以上手負

一鍋嶋紀伊守元茂家人手負三十三人

此内姓名分明之士如左

○冨岡五郎兵衛○鍋嶋六郎右衛門○中野兵左衛門○松田七左衛門以上手負

右鍋嶋一家討死三十五人手負百廿七人

惣死傷百六十二人

一寺沢兵庫頭忠高家人討死上下二十七人手負上下二十四人

此内姓名分明之士如左

○蘆山源左衛門松下半之丞○池田新助○中村十三郎○谷崎八左衛門以上討死

○三宅彦右衛門○徳姓孫左衛門○彦井作
左衛門　野中権之丞○組日治ア左衛門以
上手負

右寺沢家死傷惣廿十一人

一松倉長門守勝家家人討死

○西尾七郎兵衛

右松倉家討死一人

一有馬玄蕃頭豊氏家人討死上下三人手負上
下五人

右有馬豊氏家死傷惣テ八人

寛永年中有馬村在陣中諸家従属浪人
姓名如左此内討死手負戦功之差別諸
書倶ニ闕之追而念也

○松倉三弥○安宅主馬○片岡要齋○片山
三郎兵衛○表又右衛門○小関三郎左衛門

○八十嶋亨右衛門○平田主膳○桂十大夫
○今福久五郎○伊庭長九右衛門○尾関平助
○松田又六○村山作右衛門○末包法印○
竹村次郎兵衛○林九兵衛○黒杉新左衛門
○服部語庵○坂巻惣助○本木十右衛門○
伊庭長助○山本宗斎○堀江高庵○岩永善
六○岡本伊右衛門○沼川尾二○川波四郎
右衛門○富永惣左衛門○岩永権左衛門○

岩永助左衛門○富永治兵衛○久米大学○
神進次郎右衛門○細迫権右衛門○多川与
八郎○平野長助○中村弥次兵衛○坂川石
兵衛○林六大夫○田中善大夫○岡村文大
夫○平塚勘兵衛○村田四郎左衛門○岡ア
治左衛門○足川権右衛門○富田与右衛門○
山本十郎右衛門○猪飼権左衛門○里木与
一右衛門○小山権之丞○福田一郎左衛門

○太田忠右衛門○山口文右衛門○三沢宗
源○鎌田新五右衛門○山中兵平次○永井
清左衛門○宮部八大夫○星柳内蔵助○岡
城寺甚九郎○安彦権之丞○寺嶋六兵衛○
三村六郎左衛門○服部平右衛門○岡谷市
郎左衛門○鈴木次郎之丞○奥平五左衛門
○井上治部左衛門○稲生作右衛門○中野
助右衛門○林善右衛門○勝野三郎右衛門

○富田左之丞○岡田太郎兵衛○富永左京
○松村次郎兵衛○四宮蔵人○林市左衛門
○梶村十左衛門○平野弋之丞○峯九郎左
衛門○早水源右衛門○石谷喜太郎○渡部
源之丞○弋彦六大夫○伊口喜八郎○石谷
茂大夫○丹孫四郎○大屋半左衛門○村島
左之丞○勝野八郎之丞○大原源之丞○井
上治左衛門○小倉茂之丞○奥村権平○内

堀新蔵○伊庭十助○木村郡左衛門○伊庭
彦左衛門○渡部太郎右衛門○田坂喜左衛
門○山田庄兵衛○梅間勘平○布施又兵衛
○赤色彦兵衛○春日佐平次○大道寺治左
衛門○辻田嘉兵衛○勝田彦助○戸田意楽
○門野次郎右衛門○豊田久兵衛○加藤清
左衛門○伊丹仁右衛門○今枝四郎兵衛○
林源之丞○佐久間半之丞○中野惣右衛門

○上原源左衛門○岡田市兵衛○三原茂大
夫○山本弥次兵衛○伊奈与惣右衛門○石
関彦三郎○細井喜三郎○柳生新左衛門○
幸若三之丞○井関武兵衛○岸上左近右衛
門○加藤角大夫○救度半兵衛○竹田九郎
兵衛○井関孫四郎○瀬尾求馬○天野半右
衛門○安田八郎○谷仁兵衛○八渡半兵衛
○宮口八郎大夫○大月仁右衛門○馬地三

右衛門○渡藤弥左衛門以上

都合百五十三人

耶蘇天誅記附録巻之一終

耶蘇天誅記附録巻之二

目録

二月廿七日同八日討死手負人之事

耶蘇天誅記附録二

肥嶋窩　村井昌弘輯録

寛永十五戊寅年二月廿七日同廿八日
有馬原之城没落之節諸家之人数討死
手負姓名大略員数巨細之事

一松平本姓黒田右衛門佐忠之家人討死上下二百
十三人手負上下千六百五十六人
此内姓名分明之士廿八人左

○濵田五郎兵衛○松岡作左衛門○梶川佐
左衛門○濵田太郎左衛門○母里七右衛門
○立花弥兵衛○林源右衛門○八田仁左衛
門○高館源左衛門○戸田角兵衛○南畝太
右衛門○西良治左衛門○勝野伊右衛門○
塩川権左衛門○森庄右衛門○大石権左衛
門○野口一万右衛門以上討死
○杉山清左衛門○岡本清右衛門○黒田三

右衛門○池田佐左衛門○郡庄大夫○黒田
惣右衛門○菰田源左衛門○久野四郎兵衛
○吉田久大夫○内藤源助○村尾三右衛門
○加藤主殿○奥西喜左衛門○高橋忠左衛
門○大音六左衛門○月瀬右馬丞○久世半
三郎○一柳茂右衛門○長濵一万助○仙石斎
宮○小川縫殿助○筑紫四郎右衛門○井上
半兵衛○菅右馬助○竹中主膳○黒田太郎

助〇竹森六郎兵衛〇北村頼母助〇下見孫
左衛門〇彦弥右衛門〇卅権左衛門〇樋口
喜左衛門〇小川喜助〇小川久大夫〇加茂
三之丞〇岡本惣兵衛〇岡本甚右衛門〇飯
尾其大夫〇郡九郎右衛門〇三浦下記〇梶
原四郎右衛門〇薮左兵衛〇岡技清兵衛〇
柏原新左衛門〇廣田吉十郎〇飯尾小兵衛
〇宮田仲右衛門〇寒川江三郎兵衛〇毛屋

木工兵衛〇寺田小兵衛〇四宮清兵衛〇吉
田七郎左衛門〇杉山太郎作〇母里九兵衛
〇柏山市兵衛〇大音半助〇井上権助〇卅
安右衛門〇荒井七右衛門〇入江八左衛門
〇長谷川角左衛門〇芦野弥一右衛門〇齊
木喜平次〇槙七左衛門〇藤田勘兵衛〇梶
原茂左衛門〇柏山源(ゲン)兵衛〇吉田半之允〇
高井甚兵衛〇井手勘左衛門〇八分起全大夫

○高良兵左衛門小川長五郎○稲葉五郎
左衛門○藤田三十郎○下村次郎左衛門○
芦野伊兵衛○山本小左衛門○棚橋加兵衛
○宮内権大夫○岩本佐大夫○斉藤三之助
○岡本四郎三郎○関権右衛門○奥村七右
衛門○鷲見一郎左衛門○梶原七兵衛○毛
屋太右衛門○田中仁助○山川権三郎○松
波市右衛門○近松市助○十河源兵衛○林

平八郎○関任五郎兵衛○松原十右衛門○
三宅次郎大夫○勝野七介○木全半兵衛○
三好十右衛門○大音彦右衛門○花房源右
衛門○船曳久之允○駒山次郎兵衛○秦久
兵衛○牧野平左衛門○小西権平○伊藤清
兵衛○尾口九郎大夫○小西助三郎○花房
十右衛門○嶋路三左衛門○鹿野九兵衛○
木村三左衛門○友井仁兵衛○石川十左衛

門○原加兵衛○駒屋角太夫○鳴村佐大夫
○小川木工左衛門○梶原平助○高屋宗之
丞○中村勘助○内庄左衛門○葉原平右衛
門○招山伐左衛門○小柳七左衛門○吉田
彌兵衛○勝山長助○松原吉之丞○原田三
平○白石権助○神伐助右衛門○曽我部添
左衛門○花房文右衛門○木屋清兵衛○松
本四郎大夫○毛利長兵衛○川村甚助○井

口牛右衛門○荻田七郎左衛門○神谷三右
衛門○川口左大夫○上月半右衛門○伊庭
八大夫○木屋五郎兵衛○山口三五郎○白
石六之助○柏山六兵衛○伊藤半右衛○伊
丹九郎次郎○北角弥兵衛○林太郎左衛門
○青木市右衛門○佐谷九右衛○明石半兵
衛○栗生甚兵衛○寺田茂右衛○西川九郎
兵衛○戸波次郎右衛門○二宮伊八○存庭

庄左衛門○川崎助右衛門○後藤令右衛門
○三上玄蕃○山本新左衛門○木村源太左
衛門○関源五郎○井原権助○木村大三郎
○真鍋権左衛門○松本半蔵○木山三郎左
衛門○杉山喜三兵衛○中村新之丞○大山
彦右衛門○明石四郎兵衛○福嶋庄右衛門
○表弥左衛門○山崎茂右衛門○宇珠山八
郎右衛門○沢谷兵右衛門○中川平右衛門

○村上三大夫○舟橋助左衛門○花房権之
丞○池田十大夫○三川権九郎○勝山三郎
左衛門○角助大夫○竹森作之丞○井原小
右衛門○細井一学○内野大郎左衛門○江
川三郎兵衛○吉田喜助○山本弥八郎○林
喜兵衛○本地安兵衛○湯浅七郎兵衛○不
破蔵人○松嶋権大夫○松蔭火九郎○石川
喜兵衛○舟橋三左衛門○田中国右衛門○

岡長三郎○舟曳石門以上手負人
石黒田忠之家死傷惣テ千八百六十九人
一黒田甲斐守長興家人討死上下三十二人手
負上下二百四十五人
此内姓名分明之士如左
○安部宇右衛門○野尻八助○関三郎右衛
門○坂田右石衛門○韓置孫左衛門○正岡
太郎左エ門○矢崎太郎右衛門○芥川喜右
衛門○松村九郎兵衛○村瀬右衛門○松尾
加兵衛○柴岡九郎兵衛○重松八郎兵衛○
山本九郎兵衛○吉田五左衛門○伊藤源大
夫以上討死
○田代外記○正岡左兵衛○高取数負○宮
野孫五左衛門○岡野権左衛門○芦野兵右
衛門○川崎八右衛門○明石孫左衛門○豊
田八左衛門○岩井清左衛門○田代九郎兵

衛〇吉野五郎左衛門〇大斎孫平次〇田代
孫三兵衛〇山田新五左衛門〇安彦甫助〇
下江佐左衛門〇鹿野十太郎〇小野木源兵
衛〇池田久兵衛〇山田正左衛門〇飼田次
郎太夫〇関吉左衛門〇今村又右衛門〇伊
彦安太夫〇吉田六郎左衛門〇池田久兵衛
〇春彦源右衛門〇西川左太夫〇石原又右
衛門〇海北市郎左衛門〇室賀伊織〇西川

市左衛門〇浩城彦左衛門〇宮井七郎左衛
門〇仁科小左衛門〇里田専右衛門〇渋谷
孫左衛門〇戸波六兵衛〇織部長兵衛〇中
村孫右衛門〇磯野平八〇嶋市郎左衛門〇
山本五右衛門〇桓田庄兵衛〇佐々木九郎
右衛門〇嶋原八之丞〇高橋四郎兵衛〇関
田安之允〇宮崎織部〇小川伊太夫〇小川
左近右衛門〇蔦吉左衛門〇竹田七左衛門

○渡辺喜内○吉田齊宮○柳山市助○伊藤
三郎兵衛○村上源左衛門○長井八郎右衛
門○坂波市左衛門○江良四郎兵衛○石原
新左衛門○馬場半左衛門○宮崎半兵衛○
濱野与左衛門○西川七郎兵衛○杉田文右
衛門○嶋左兵衛○田中十右衛門○明石木
工左衛門○尾山四郎兵衛○松蔭藤三郎○
高橋孫四郎○嶋川藤左衛門○田代四郎左
衛門○牧谷善兵衛○宣田孫之丞○中村忠
兵衛○山口半之丞○松橋勘兵衛○服部新
五兵衛○澤野九郎左衛門○吉岡安兵衛○
太田大兵衛○小野五左衛門○長原三郎左
衛門○細井六郎兵衛○篠田八兵衛○保々
五郎兵衛○村上勘兵衛○佐野六郎右衛門
○宮崎弥右衛門○井上利兵衛○小川文大
夫○川瀬市兵衛○宇木八郎兵衛○白石六

郎左衛門○佐谷仰右衛門○熊沢伊右衛門
○正岡持三郎○三条孫之丞○原十郎左衛
門○田村半四郎○上嶋八右衛門○西川加
兵衛○西川半左衛門○福岡弥右衛門○山
井四郎太郎○木村角左衛門○吉田百助○
内八十郎○間小四郎○伊彦九之丞○梯橋
治之丞○井上小左衛門○岡村源之丞○村
上弥大夫○上田権助○新井小左衛門○有

山金助○豊田安右衛門○毛利勇兵衛○吉
川五郎之丞○長村三郎右衛門○内海勘左
衛門○金丸彦之丞○宗吉左衛門○佐藤甚
兵衛○楊津安兵衛○中村太兵衛○中間作
右衛門○柘木文輪院○梯橋孫八郎○安彦
久太郎○磯甫菴○寺尾五之丞○米倉久左
衛門○江芝傳助○熊井吉左衛門○大賀孚
左衛門○山村茂左衛門○吉田長右衛門○

北山作兵衛○小瀬角兵衛○柴木治兵衛以
上手負
石黒田長與家死傷惣テ二百七十七人
一黒田市正隆政家人討死上下十六人手負上
下百五十六人
此内姓名分明之士加左
○尾村半助○山本次郎大夫○岡田次郎左
衛○伊庭甚左衛門○宇野佐五左衛門以上

討死
○東郷六左衛門○片岡半兵衛○岡田九郎
右衛門○木山安之丞○尾林平大夫○三矢
作十郎○楠橋半左衛門○足立平六○村瀬
市之丞○小川清左衛門○古谷十藏○松畑
庄左衛門○吉末十三郎○月成平左衛門○
月成三之郎○二册五之衛○新実三郎左衛
門○東郷伝左衛門○明石平九郎○野間太

兵衛○松田庄兵衛○伊俵田甫菴○庄林伐
大夫○荻庄兵衛○林五郎右衛門○山田甚
左衛門○山崎七兵衛○南川權左衛門○天
塚作兵衛○吉田安斎○平野傳左衛門○野
中友之助○橋本十左衛門○寺田歸左衛門
○筧紫助左衛門○志方安左衛門○真田傳
左衛門○矢野七郎右衛門○蕙尾庄左衛門
以上千貟

右黒田隆政家死傷惣〆百七十三人
一本黒田三家之死傷
凡二千四百二十人云

一細川越中守忠利家人討死上下二百七十四
人千貟上下千八百二十六人
此内姓名分明之士如左
○尾藤金左衛門○平野弥平次○嶋又左衛
門○大西弥左衛門○吉岡小十郎○益田弥
一右衛門○毛利七兵衛○山田新九郎○岩

越惣右衛門○河喜多九大夫○長谷川侍左
衛門○江口方三郎○西沢文右衛門○神足
八郎右衛門○小川忠左衛門○弓削与次右
衛門○服賀平右衛門○齊藤権之助○小坂
半之允○野瀬吉右衛門○松岡久左衛門○
奥津九郎兵衛○渡辺源之允○白木庄助○
遠坂関内○児玉庄兵衛○嬉野喜左衛門○
餘田三右衛門○伊藤儀大夫○志摂小傳次

○平野三郎次郎○福田助三郎○新賀長右
衛門○井上庄左衛門○平海十右衛門○杉
村十左衛門○益田太郎兵衛○野間権大夫
次上討死
○長岡左馬介○残山齊宮○明石源左衛門
○平野弥次右衛門○坂崎平兵衛○小路太
左衛門○小笠原備前○谷主膳○寺本久太
夫○長岡八郎左衛門○小笠原民部○吉廣

加左衛門○松尾小三郎○西郷要人○清田
石見○谷忠兵衛○黒田角兵衛○沢村百右
衛門○三渕内匠○高田五兵衛○道家左近
右衛門○松野左馬介○中嶋万右衛門○杉
岡弥一郎○丹羽亀之允○田中入助○本庄
角兵衛○小笠原隼人○山篠角左衛門○大
嶋彦右衛門○坂崎内膳○稲津九郎右衛門
○山本太左衛門○佐々庄左衛門○平野源

太左衛門○大木織部○小笠原采女○竹内
数馬○魚住孫四郎○磯津宮内兵衛○神津
浦五郎兵衛○飯飼孫右衛門○清成八十郎
○湯浅午右衛門○庄本庄右衛門○久野勘
十郎○竹田八郎兵衛○清成十五郎○竹内
次郎太夫○大里仙千代○岩越四郎大夫○
中岩内膳○太田小十郎○坂井七郎右衛門
○能勢大蔵○寺尾求馬助○古川市助○木

本伊右衛門○山本清十郎○柏木弥三左衛
門○関佐太郎○阿部主膳○高木慶室○野
那俵左衛門○太田善兵衛○杉山安之丞○
竹岡加右衛門○友田八郎右衛門○古安大
夫○小崎小兵衛○沢村九兵衛○魚住庄助
○乃義新八○熊谷石右衛門○山村十右衛
門○難波吉左衛門○続弥大夫○住江八右
衛門○香山千助○小村喜次郎○奥村次郎

右衛門○吉岡清兵衛○明石九郎右衛門○
太田伝三兵衛○関安之丞○松本平右衛門
○加賀山太郎兵衛○沢治吉右衛門○田中
久兵衛○岡田武左衛門○山田三大夫○及生
右平次○不破清十郎○熊谷三郎右衛門○
田屋治ア左衛門○中川長吉○芦田孫作○
米田小右衛門○井原十三郎○三宅勘十郎
○安場仁左衛門○久野太左衛門○廣瀬木

五之助○関小平次○田中兵大夫○坂崎勘右衛門○服部武兵衛○竹原庄兵衛○茨村藤兵衛○上村甚九郎○上田太郎右衛門○中津義五郎右衛門○山田右三郎○大水惣十郎○吉山市右衛門○田中新兵衛○阿ア権兵衛○高見九郎兵衛○針本十右衛門○喜弥五左衛門○阿部市太夫○平野木之助○大塚甚左衛門○原田十次郎○薮崎之

丞○兵部道雲○杉山清兵衛○山田七郎左衛門○中根半之允○杉山長兵衛○木村仁左衛門○横井半右衛門○高田九郎次郎○入江八郎兵衛○神戸兵左衛門○山田作左衛門○弓削七郎兵衛○薮熊之丞○伊藤左内○稲田次郎左衛門○衣良孫太夫○横田勘左衛門○荒木善兵衛○山田七郎兵衛○岩佐彦作○上野左源太○堀部勘兵衛○菅

国立公文書館
National Archives of Japan

源大夫○小村半左衛門○樹下石衛門○荒
瀬市之丞○草村又之允○西村半兵衛○樹
下九郎太郎○一宮善大夫○拓植源右衛門
○変右太夫○山嶋権平○北村助兵衛○同
半左衛門○牧又四郎○沢田九右衛門○内
友平右衛門○町然之助○川喜多八助○礒
沢庄助○福田助左衛門○道家弥太郎○堀田
庄大夫○元田傳次○横田半左衛門○伊藤

権之允○続十兵衛○服部勘左衛門○水間久
米助○芳式武太夫○松野縫殿介○牧助左
衛門○波生俊兵衛○松田舎七○杉本左右
衛門○野田源次郎○平野権之允○坊田小
平次○湯浅角左衛門○逢田安之丞○佐分利
千蔵○大村勘三郎○矢野小三郎○友本勘
助○松野平兵衛○高見権右衛門○佐野佐
兵衛○本庄勘左衛門○橋田権之助○曽根権

三郎○折渕午之助○岡本源次郎○茂田小
平次○一柳七郎兵衛○花房治右衛門○大
夫野次郎八○大神十兵衛○河井清三郎○
気紫大膳○佐江茂左衛門○嶋田茂大夫○
青山又之助○山口十左衛門○鈴木清左衛
門○村山吉之允○市兵左衛門○沢田六郎
左衛門○杉十兵衛○湯浅次郎大夫○茂木
九右衛門○磯津三助○今泉形右衛門○磯

津市兵衛○北村平大郎○加茂権之助○飯
田何右衛門○松山次郎兵衛○木下彦右衛
門○高尺左五郎○相田十左衛門○中野少
兵衛○中嶋七左衛門○喜多権兵衛○小林
半兵衛○飯田安兵衛○川野伊右衛門○加
賀山千左衛門○寺野弥兵衛○田中十左衛
門○松本久之允○小原半大夫○佐分利喜
四郎○近藤助之丞○村上次郎右衛門○綾

部七郎右衛門○服部理右衛門○長谷川七
兵衛○岡本吉左衛門○柏木庄九郎○友成
庄兵衛○石橋久之丞○今沢五郎助○柴山
又十郎○原右兵衛○本庄太兵衛○蜂江長
左衛○加賀山市左衛○牧長右衛門○山岡
仁右衛門○稲津次郎八○大竹傳十郎○宮
村新左衛○三池弥次右衛門○村上勘右衛
門○小泉九助○櫻沢与三左衛門○志賀源

兵衛○北村長右衛門○平野左市郎○岩田
勘之丞○三井九右衛門○麦左門○佐分利
次郎兵衛○大塚七左衛○宗軽七左衛門○
宇野加右衛門○平野九大夫○加藤源左衛
門○佐彦傳三郎○尾崎彦蔵○彦田治右衛
門○富岡新左衛○大竹与兵衛○栗野四郎
兵衛○白熊傳十郎○中村彦兵衛○野口云
右衛門○大河内新左衛門○馬場弌蔵○磯

谷半四郎○明石十兵衛○村上一斎大夫○
関安右衛門○奥田了徳○飯田源兵衛○三
池左馬助○飯田次斎七郎○菅村権之丞以
上千員
一　石細川一家死傷惣二千百人
一鍋嶋信濃守勝茂家人討死上下百三人手負
上下四百七十二人
此内姓名分明之士如左

○諸関五郎左衛門○杉町次郎左衛門○上
野九郎兵衛○加賀山梯祐○堤清左衛門○
大嶋近友九（一本作近豊九）○桁原善右衛門○大石
十大夫○石川十郎右衛門○金丸清右衛門
以上討死
○伊友太郎右衛門○吉井弥次右衛門○多
々良九郎右衛門○花村右兵衛○成富平兵
衛○村保弥兵衛○成富権兵衛○八木左馬

○浅井権右衛門○千嶋九郎右衛門○宮田
九左衛門○吉嶋五郎右衛門○八谷六左衛
門○我孫子助之丞○嶋田丑郎助○田中多
門○鶴田九太夫○香川五郎右衛門○佐賀
治左衛門○赤司清兵衛○赤司傳十郎○挟
尾三郎右衛門○角六太夫○高橋左馬助○
巨勢兵部右衛門○野馴乃兵衛○川馴久太
衛○野田八太夫○杉田清兵衛○堤九左衛
門○相浦左馬允○野口木工之助○豊田右
右衛門○馬場又右衛門○坂井五良太夫
田嶋右馬丞○杦六郎右衛門以上千貫

右鍋嶋勝茂家死傷惣五百七十五人

一鍋嶋紀伊守光茂家人討死上下五十七人千
貫上下二百十一人

此内姓名分明之士如左

○田代次郎太夫○三浦大学○中尾六郎右

衛門○田坂与左衛門○田代卯右衛門○鳥
巣三郎兵衛○大木兵部以上討死
○鍋嶋廿郎左衛門○富岡九郎右衛門○大
木主水○同権左衛門○田尾左近○神代与
左衛門○同治兵衛○石川与三兵衛○東嶋
木工左衛門○手塚内蔵○尾平太橋左衛門
○古川右兵衛○嬉野又兵衛○細富三郎左
衛門○永田傳兵衛○石田内蔵允○山本茂

七郎○神代三右衛門○堤清兵衛以上手負

右元茂鍋嶋家死傷惣二百六十八人
一本鍋嶋両家之死傷凡七百九十九人云々

一有馬玄蕃頭豊氏家人討死上下八十五人手
負上下二百三十七人
此内姓名分明之士如左
○白井九右衛門○水野助之丞○白井甚右
衛門○中井次郎助○岡田作兵衛○堀刑部

守○勝木長大夫○田中市兵衛○市本友十
郎○高橋次郎助○山路伊右衛門○荒木本
工助○石原文兵衛○吉田喜右衛門○小沢
半兵衛○山田九兵衛尾関半左衛門深士○笠間権左
衛門上門○二寺九郎右衛門同次上討死
○尾関半左衛門○高敷惣右衛門○白井外
記○白井大郎左衛門○西沢左近右衛門○
上田伊兵衛○上田六兵衛○松下弥五右衛

門○下村次郎助○中嶋又右衛門○中野太
右衛門○磯野関右衛門○熊谷伊織○岡本
半七○伊藤左吉○雲林院弥左衛門○余田
惣右衛門○松田次郎八○下坂五郎兵衛○
戸田傳右衛門○井口権大夫○堂村小助○
高木市之允○大庭半之助○賀田九兵衛○
山本四郎兵衛○佐野権左衛門○岡村弥左
衛門○日清八○平田甚兵衛○荒木平蔵○

岡本安右衛門○津田権之丞○原勘右衛門
○坂原弥右衛門○宮崎源右衛門○村尾権
之助○馬場甚左衛門○飯清平左衛門○三
好安之允○加藤傳之丞（有馬内記隊士）○石野佐右
衛門同上○井上清右衛門同上○近藤八郎右衛、
門同上○鳴六左衛門（有馬左門隊士）○井上半次郎（尾関
半左衛門隊士）○小川傳兵衛同上○浅野治之丞同上○
白石理右衛門（太田島解由隊士）○福石仁兵衛同上○

山本加左衛門（松田長左衛門隊士）○深野庄之丞（岩田五郎
右衛門隊士）○木茂之丞同上○蒲生次之丞（井上太郎助隊
士）○廣田勘左衛門（木庄市正隊士）以上手負
右（有馬豊氏）家死傷惣三百二十二人、
寺沢兵庫頭忠高家人討死上下二十三人手
負上下三百十五人
此内姓名分明之士如左、
○関嶋兵左衛門○並河角左衛門○古御八

右衛門○山崎伊織○村尾弥五右衛門○草
場六之允○村田道斎○和田八郎左衛門以上
討死
○岡嶋次良左衛門○山田将監○関隼人○
熊沢権六○竹田九郎左衛門○明石善兵衛○
大津郡左衛門○与田甚左衛門○山路三大
夫○鈴山興三右衛門○石橋武大夫○友掛
利助○古橋権大夫○小川四郎左衛門○大竹

三十郎○佃正右衛門○村瀬吉左衛門○岡作
兵衛○友井作左衛門○柳本五郎左衛門○
中路市兵衛○国府角左衛門○福永六郎右
衛門○石浦小左衛門○稲長長助○橋富与三
兵衛○山原弥五兵衛○武友治大夫○磯野
吉右衛門○野中権之丞○大塚六左衛門○吉
田六右衛門○安井十之允○三宅新之丞○
石原小源太○沢木数馬○池田四郎左衛門○

石川理左衛門〇吉田権十郎〇右浦治左衛
門〇右浦与五右衛門〇佐藤作左衛門〇藤
山平左衛門〇田代七郎右衛門〇徳賀孫左
工門〇同七左衛門〇中江与三左衛門〇石
郷源兵衛〇石川宇右衛門〇戸田蔵左衛門
〇九里吉右衛門〇並河大左衛門〇草場七
右衛門〇藤乏村左衛門〇金沢孫左衛門〇
庭田左近〇吉田甚右衛門〇田中六左衛門

井上四郎兵衛〇三木清兵衛次上手頭
石寺沢家先備惣三百三十八人
一立花飛騨守宗茂家人討死上下九十七人手
頭上下三百三人
跡内姓名分明三士如左
〇小田原五左衛門〇西田次郎左衛門〇小
久保次郎兵衛〇吉岡七左衛門〇芭田伝左
衛門〇明石権之助〇同四郎三郎〇車田作

左衛門○吉田九太夫○江上半助○園田半
之助○林権八郎○奴留湯清右衛門○吉廣
右京○茨六之丞○生田弥之衛○十時弥左
衛門○高野五郎助○同七右衛門○坊川七
郎兵衛○小野傳助○番北八之丞○向任七
右衛門○香菱源之允○篠原彦右衛門○吉
神弥之丞○石井八右衛門○川津十左衛門
以上討死

○立花壹岐○吉城宮内○松田又右衛門○
堀六右衛門○櫻井角左衛門○清田権左衛
門○谷田六兵衛○十時与三之衛○作迫権
左衛門○曽我七郎右衛門○松田五郎右衛
門○曽我頼母助○清田正次郎○十時久左
衛門○吉原左衛○舞子野合右衛門○十時
弥六之助○同内匠○直子一郎右衛門○八
郎太郎之衛○表九左衛門○江上茂右衛門

○山田清右衛門○彦喜兵衛○中原太郎左
衛門○十助 弥平次○友松太郎右衛門○小
半彦内○林権之允○立花源之丞○谷川十
郎○小野佐大夫○安部兵五郎○吉田市之
衛○戸次小左衛門○小田部土佐○同隼人
○番北七之衛○小野佐右衛門○原彦右衛
門○大石作左衛門○長江内蔵允○瀬田大
膳○小野彦之丞○清田久之允○坂田次郎

右衛門○竹廻五郎兵衛○正田四郎右衛門
○水上八郎右衛門○河瀬市之衛○立花木
工之助○西原彦右衛門○伯耆太郎兵衛○
山本勘右衛門○渡辺羽右衛門○佐伯友左
衛門○海老名喜兵衛○佐伯三郎左衛門○
坂巻仁右衛門○木崎源之衛○片岡庄之衛
○熊谷半之衛○瀬戸市之衛○中村次郎右
衛門○松邑安之衛○中原六左衛門○笑達

太左衛門○番北三郎右衛門以上手負
右立花家死傷惣四百人
一小笠原右近大夫忠政家人討死上下十七人
手負上下三百八人
此内姓名分明之士如左
○野嶋八郎左衛門○堀三郎四郎○木瀬角
太夫○今枝長右衛門○松平久太夫○郡規
権平○長谷八之允以上討死

○鷲尾九右衛門○武井政之丞○近藤政之
助○中野甚五右衛門○黒部四郎之丞○廣
木勘右衛門○今井十郎兵衛○高田作之丞
○松下権左衛門○林怒左衛門○福村八郎
之丞○木下彦三郎○山田仁右衛門○大富
次郎左衛門○沖庄右衛門○辻賀左衛門以
上手負
右小笠原忠政家死傷惣三百二十五人

一小笠原信濃守長次家人討死上下十九人手
負上下百十六人
此内姓名分明之士如左
○井塚安右衛門○植村作左衛門○林九郎太
郎○征矢野恵助以上討死
○北見平大夫○若林彦大夫○山本幸右衛
門○山田与兵衛○大井半左衛門○熊本伊兵
衛○九山三十郎○佐々木関之允○中根孫
右衛門○同孫兵衛○萩野孫兵衛○高田権
之允○永井八郎右衛門○永井彦兵衛○二
木勘兵衛○柏木伊右衛門○水野八郎右衛
門○高木小兵衛以上手負
右小笠原長次家死傷惣百三十五人
一松倉長門守勝家々人討死上下二十七人手
負上下六十二人
此内姓名分明之士如左

○永田三郎右衛門○奥山茂大夫○曽我九
大夫○村越四郎左衛○李有右衛門○服部
平右衛門○春日佐平次○太田伊右衛門○
永井清右衛門○富永治兵衛○今橋久五郎
以上討死
○小名小三郎○石橋伊兵衛○関内匠○石
井権之允○山後吉右衛門○椿十左衛○佐
野長十郎○原久右衛門○桂十大夫○池田

半之助○佃弥左衛門○渡辺勘左衛門○飯
尾彦之允○前原新四郎○三浦十右衛門○
安養半助○熊部四郎左衛門○高橋七左衛
門○竹村庄次郎○井村助兵衛○竹村庄左
衛門○高橋伊右衛門○作之允馬印持奴○杉山
五郎兵衛○大塚郎之允○辻村太郎藏主○
鈴木治兵衛○勝部清右衛門○渡辺太郎右
衛門○安宅主馬○幾嶋佐左衛○勝田喜助

○井上大膳○曽我又左衛門○村上久右衛
門○片岡三郎兵衛○平野右兵衛○内堀新
蔵○白石半之丞○村嶋左兵衛○岩村九右
衛門○馬地三右衛門○矢橋千左衛門○太
田名石衛門　○中村弥次兵衛○辻田加兵衛
○翁五郎兵衛○上原源右衛門○小山権之
丞○李又右衛門以上手負
右松倉家死傷惣テ八十九人

一有馬左衛門佐康純家人討死上下三十八人
手負上下三百十人
　此内姓名分明之士如左
○谷川角兵衛○荒木勘兵衛○堀彦之丞○
波々伯部玄室○奥佐助○山田杉之助○安
富治右衛門○不破主殿○上代久右衛門○
川端惣十郎○大野佐次右衛門○臼井右玄
衛○材田弥三右衛門○浅海千紹右衛門○

三原新五左衛門○小栁勘四郎以上討死
○有馬九郎左衛門○同右京○同三郎左衛門○
同五郎左衛門○吉田一学○水野右馬助○
林田図書○同佐野右衛門○同主馬助○林
田新之允○近藤豊前○山本甚五兵衛○同
傳之丞○安徳庄助○鷹屋四郎兵衛○堀源
大夫○同金大夫○堀江久米助○同永宮○
山尾半四郎○栗原主膳○本馬儀大夫○本
馬孫助○川端左兵衛○長田安兵衛○久野
善右衛門○同吉兵衛○竹中七右衛門○竹
中久之允○坂木十兵衛○大村弾正○同兵
左衛門○櫻井庄右衛門○神代七兵衛○長
田勘左衛門○柴山喜右衛門○大村一郎兵
衛○田中助左衛門○同権之允○同二藏○
草野友之丞○太田尾七左衛門○大寺彦兵衛
○上田次郎七○小堀茂大夫○鷹屋平右衛

国立公文書館
National Archives of Japan

門○山田小大膳○池田忍兵衛○森源左衛門○馬場喜三郎○馬場加平次○江利右友衛門○池田半兵衛○渥美助大夫○伊藤百助○岩田十左衛門○林田大助○川新之允○三原半大夫○大津七兵衛○伊藤六之助○荒木十右衛門○黒木分四郎○佐野清十郎○菅庄左衛門○三人嶋傳七○米良兵次郎○圖司勘三良○渡辺角之丞○松嶋一郎

右衛門○川村孫助○浦上木工左衛門○円兵三郎○嶺吉右衛門○村川治部左衛門○奥分四郎○坂原長之允○米良友右衛門○嶺久大夫○荒木勘十郎○馬場次兵衛○田嶋金之丞○山本傳之允○三ケ嶋孫大夫○荒木七兵衛○大野源五左衛門○山内吉兵衛○富沢清右衛門○駒木木工弥○荒木小三郎○大條太助○平野吉兵衛○不白権三

郎○浅沼四郎左衛門○入江弥太郎○平野
半吉○浅山内蔵助従属之浪人数○熊谷佐左衛門
同上○松下矢右衛門同次上千貫
右有馬康純家老備惣テ三百四十八人
一水野日向守勝成家人討死上下百八十人手
負上下二百九十八人
此内姓名分明之士如左
○松野又六○渡部十左衛門○小沢木工之
助○廣田市兵衛○浅沼舎人○堀尾大夫○
石渡市平○金万安之允○深栖太郎兵衛○
宮売長右衛門○酒井右馬助○片岡三右衛
門○今井定右衛門○廣田与三左衛門○曽
川六大夫以上討死
○上田玄蕃○同武大夫○同十郎左衛門○
上田平六○同清兵衛○鈴木久兵衛○同大
膳○同半之允○同治兵衛○同平大夫○同

治部右衛門○石安右馬助○中尾大学○佐
藤七兵衛○佐藤正大夫○長井平右衛門○
上泉甚大夫○小倉源兵衛○同政之允○高
橋孫兵衛○小野田五兵衛○福田専助○松
世小左衛門○神谷新左衛門○伊香令兵衛
○神谷木工丞○千場七太夫○古屋五大夫
○清水六之允○同作右衛門○廣田七左衛
門○同市兵衛○同源之允○友掛勘九郎○

坂田市之允○同久斎○同小膳○三好次郎
九郎○磯川助之丞○三原庄八郎○遠山六
之允○遠山内蔵丞○同理右衛門○櫻村久
三郎○丹羽半左衛門○浅井十大夫○同治
郎右衛門○石安長兵衛○湯川軍兵衛○川
村権右衛門○同長兵衛○川上内蔵助○三
池与五左衛門○浅井金左衛門○同喜兵衛
○石原角之允○赤崎長大夫○仙石喜助○

吉川内蔵助○藤村左平次○三个嶋角左衛
○岩崎又兵衛○在岡六之允○豊田六郎左
衛門○衣笠兵助○岩谷亀右衛門○伊旅左
兵衛○大屋半左衛門○木田源兵衛○今井
角兵衛○竹本六郎右衛門○浅沼武右衛門
○青木策右衛門○津田半之丞○今枝右馬
允○今枝勘右衛門○松本孫右衛門○加藤
十大夫○同平大夫○同権兵衛○同書之允

○根田木工弥○三村半平○鳥井加左衛○
芝田市兵衛○磯村左右衛門○木村庄左衛
○差村左近右衛門○富田与五左衛○高田
惣蔵○高田治右衛門○同門左衛○伊吹彦
兵衛○千種平太左衛門○山本友兵衛○新
庄次郎左衛○山川左大夫○友井三郎左衛
○原田木工之助○市川助大夫○酒井小左
衛門○光邑主膳○松本造酒丞○深見久大

允○服村左平次○戸川太郎作○横川孫兵衛○竹本孫左衛門○舩橋勘之丞○樋口八之允○同安大夫○樋口正右衛門○酒井四郎左衛門○関矢次兵衛○柳原八郎左衛門○牧右馬丞○原田三郎兵衛○荒木郷右衛門○八木八左衛門○生原甚五右衛門○三浦孫右衛門○中村角之允○同半之助○清水新五兵衛○森友源右衛門○安友右衛門

九郎○稲生角右衛門○小牧作右衛門○丹羽忠右衛門○沢野半右衛門○瀧傳兵衛○東半左衛門○金万平右衛門○中山外記○同角大夫○円壹岐○杉原五左衛門○前田木工兵衛○井関治右衛門○磯村孫平次○三村五郎兵衛○佐々木五郎右衛門○関本安右衛門○磯田弥大夫○安井惣右衛門○西山半三郎○鷹尺九郎右衛門 以上 千頁

右水野家死傷惣四百七十八人

一松平伊豆守信明家人討死上下六人手負上
下百三人

此内姓名分明之士加左

○杉村頼母○西村平三郎○野馬市之丞次
上討死

○浅井甚之丞○酒井三十郎○杉山諸右衛
門○大嶋左源太○布施十之丞○三田五郎
右衛門○日置七郎右衛門○柴田権右衛門
○岡本清之丞○王上傳左衛門○尾嶋新右
衛門○竹田三郎右衛門○関口七之助○伊
東勘右衛門○遊佐半兵衛○川西孫右衛門
○三嶋藏人○安田七郎兵衛○林伊之助○
川上五右衛門○朝比奈三右衛門○斉藤源
右衛門以上手負

右松平信明家死傷惣百九人

一戸田左門氏鉄家人討死四人手負上下三十
四人
此内姓名分明之士如左
●内藤九右衛門○成川一郎五衛○酒井源
右衛門○森傳兵衛以上討死
○村井五郎左衛門○瀧弥二右衛門○岩村
弥五衛○井上仲右衛門○小出角右衛門○
石見又五衛○稲垣新之允○成瀬善左衛門

○浅野又左衛門○久徳清左衛門○中山武
兵衛○野崎十左衛門○木梨十五衛○小野
所右衛門○櫻井武兵衛以上手負
右戸田家死傷惣三十八人
一松平丹後守重直家人討死上下三十四人手
負上下百二十七人
此内姓名分明之士如左
○豊嶋半之允○小林市左衛門○小林孫右

衛門○南沢小兵衛○今西半三郎○友田庄
大夫○鈴木九郎兵衛○瀬口一本作成杉 久兵衛
以上討死
○加藤主米 大原平左衛門○唯井加兵衛
○中村次郎左衛門○伊藤彦兵衛○室賀九
兵衛○平野大兵衛○平井二郎左衛門○平
井彦左衛門○柘植九右衛門○三橋甚五兵
衛○三上留之允○庄林安左衛門○石家瀬

兵衛○川合友之助○石本西左衛門○吉住
三郎右衛門○舟越今右衛門以上手負
右松平主殿家死傷惣百六十一人
一坂倉主水重矩家人討死上下七人手負上下
十五人
右坂倉家死傷惣 二十二人

耶蘇天誅記附録巻之二終

耶蘇天誅記附録巻之三

目録

一 肥後国之生捕等口書之事
一 大矢野小左衛門室而演説之事
一 山田右衛門作口書之事

耶蘇天誅記附録三

肥嶋富 村井昌弘輯録

肥後國之生捕等口書之事

一寛永十四丁丑年十月廿九日、肥後熊本領内舟津浦ニテ、吉利支丹宗門一揆ノ類届ニヨリ召捕ラヘケルハ、彼奴曹ハ天草郡大矢野村ノ庄屋小左衛門、同人娘、同人聟小兵衛、下人四人、四郎母、四郎姉、四郎姉ノ子共二人、都合男

女老少十一人ナリト云、按スルニ、右十一人
急リ舟津浦ニテ召
捕リシニハ非ズ、四郎大夫、在所ハ、郎フ肥後
ノ囚宇土郡江辺村ト云フ取ノ田ナリシ内郡
善導寺村ト云ルニモ城其外祝有リ
ナリ返レハ四郎カ母其外女児ノ所ハ江辺カ
善導寺等ニテ、召捕レシ人ハ女ニ児ノ小カラ求ス
天草ヨリ舟津ヘ来リシ小ハ、小左衛門ヘ小多ラ
二人ノ外ハ川伴参リシト大一左衛門ヘ、但シ今度
天草表ノ騒動ニ付キテ、婿リ女児尺ヲリ、土庁ニ
思ハ己シ郎ニ天草ヨリ女児尺ヲ宇土郡辺ニ
白遥ニ来リシカ、捕ラレシ、其実ヲ知ラス、
一下ニ記ス、内人生小左衛門ニ下、其十二歳、同人
坪小玄衛二十八歳、四左衛門ニ娘二十二歳許、
二十四歳、四郎姉ノ子、四郎母五十歳、四郎姉
娘七十歳、男子五歳ト云子、郎城下熊本ヘ引下ニノ

幸合セシム、城主細川越中守忠利ノ郡代役、
ハミ、差一郎名并町市之丞其外彼是役人立會
シテ、吹葦ノ始末ヲ尋ニ糺明セシメ口書ヲ
為シム、其文左ノ如シ

一　四郎大夫母申口之覚

一　四郎時貞年十六歳（按スルニ少年十又、寅年十六才ナリ、）
ニ罷成リ、九ツノ年ヨリ、手習三年仕リ、
学問モ五六年仕リ候、長崎ヘ節々参リ、

学問仕候京大坂ヘハ不参候江戸ヘモ
先ニ参リ不申候去ル九月晦日ニ大矢
野ヘ参リ申候着ハ小左衛門弟ノ所ニ
罷有リ候小左衛門弟ハ佐太郎ト申シ
四郎カ姉聟ニテ御座候事
一四郎叔父ハ十月九日ニ肥後ノ宇土ヨリ
迎ヒニ遣シ候得共小瘡煩ヒ中申ニテ
不参候叔子一所ニ残在リ帰リ不申候

四郎カ祖父ハ大矢野ニ有之候事
一医師相津玄札年二十八加藤平左衛門
加藤ト申ハ肥後ノ国ノハ先国家老
ニ加藤肥後守清政カ功臣ナリニ
一上田源大夫年三十八大膳名字ハ不存
年五十許是者ハ松倉長門守殿家来
テ御座候処寛永前ゟ中ノ士大勢立退候
節一所ニ嶋原ヲ退キ上津浦ニ居住仕
ル由申候助左衛門 一本ニ助大夫ト記ス名字ハ不存

年四十計右ノ大膳叔郎ニテ御座候間
門跡ニ嶋原ヲ立退キ先年長門守家中
退キタル事アリトカヤノ士四十八人立
其衆一列ノ者ナルカ其後大浦ト申ス
所ニ在之ル事
一平兵衛名字ハ失念年比五十七八是ハ
天草栖本ノ城代ト記（一本講代）ハス加藤肥後守
数年奉公仕リ候此段ハ幼少ニ候間
下川又左衛門並ニ名字ハ失念半兵衛
ト申ス者ニ申付ケ、彼者万端世話仕リ、
致成長候テ近年立退キ十年以前ヨリ
柳ト申ス所ニ罷有リ候定メテ今度ハ
一番ニ原ノ城ヘ可致籠城候軍法杯モ
存シタルヤウニ浪人ノ始メ沙汰御座
候事
一一向坊主モ御尋ノ通リ器量有之坊主
ト承リ及ヒ候是ハ廣嶋浪人ノ子ニテ

一 上津浦ニ罷有り候事

一 善左衛年五十計七右衛門年二十七八七左衛六十計右三人上津浦庄屋ニテ當量有之者ニノヨシ広村ニテモ沙汰仕り候事

一 弥左衛門年五十許り左衛門罸[ミツト]ニテ庄屋ニテ候事

一 七左衛門年五十許是ハ大矢野庄屋ト親類故大矢野ニ罷有り候事

一 監物[是ハ]高来郡有家村ニ居住仕り罷有り候此者ノ世倅先年宗門故ニ御仕置ニ成り申候事

一 善左衛門名字不存[掾スルニ山善左衛門ト云シ者ナルヘ]シ宗旨ノ骨長當ミノ者ト又ハ久り年比五十二三是ハ高来郡寸川村[掾スルニ有家村内須川名ア]ニ罷有り候ヘ一揆ノ中ニテモ番頭ニテ御座候ノ由

沙汰仕リ候事

一 芦浦石右衛門ニ此者ハ先年有馬取信安
奉公ヤニ侍ナリトハ云
年五十許高来郡小川村村内小川名
捴スルニ有家
ニ居住仕リ候事

一 太郎左衛門 名字不存 年六十余 天草ニ
居申候事

一 相津玄札 弟三ノ條下ニ相津玄札年六
ハトアリ 童テ衣ニモ出ス年
齢相違旁 年三十二醫術テ仕リ居申候
不審ナリ

辨吉 利口ノ者ニテ御座候事

一 石ノ者ニ候ハ次前奉公ヲモ相勤メ立帰
リノ中指折リノモノ候ニテ御座候皆
浪人ノ申業リ候事

巳十二月

大矢野十左衛門童而演説之事

去年巳ノ十月給本領主土郡舟津浦ニテ居

捕ラヘタル吉利支丹一揆ノ同類天草郡大
矢野ノ庄屋小左衛門同人甥小兵衛二人ヲ
寅ノ正月廿五日牢内ヨリ召出シ領主細川
越中守忠利ノ郡代乃美一郎兵衛町市之丞
等再タヒ糺問シケレハ重テ申述ヘケル趣
左ノ如シト云

御尋ニ付申上ル覚

一天草ノ一揆起リ申候儀ハ嶋原ノ一揆

発起ノ後ニテ御座候嶋原領有馬ノ内
谷川村（南有馬村ノ内谷川名成ヘシ）ノ三吉ト申ス者
去年十月ノ比吉利支丹ノ談義ヲ仕リ
法ヲ弘メ申候其様子嶋原ヘ聞ヘ申ス
ニ付嶋原ヨリ彼三吉ヲ搦捕ルヘキト
被成候ヘ共吉利支丹ノ宗旨ナルニ依
ツテ奇特御座候テ罷成ラス候ニ付テ
近隣ノ者モ奇異ノ思ヒヲナシ有馬表

不残吉利支丹ニ罷成候然ル所ニ十月
二十六日ニ嶋原衆一揆方ヘ押寄ラレ
申被仕候処ニ嶋原衆悉ク戦ヒ負城下
町マテ不残焼キ掃ヒ申ス通ニ御座候
然ル処ニ寺沢兵庫殿領分天草ノ内
上津浦ノ者同領分湯嶋ヘ参リ候由ヲ
承リ帰リ扨々尊キ事ト申候テ上津浦
ノ一揆発リ申ス由ニ御座候大矢野ノ

者モ湯嶋ヨリ嶋原ノ様子承リ帰リ申
候テ御代官衆ヘ断リ吉利支丹ニ立帰
リ可申ト存シ十月二十七日上津浦迄
参リ候処ニ寂子共時分ヨリ上津浦ハ
発リ申候ニ付テ私共ヲ通シ申セシキ
由申候間吉利支丹ニ立帰リ申ス段ヲ
御代官ヘ断リニ参リ候由ヲ申候ヘバ
扨ハ左様ニ候ヤト別義御座ナク以帰テ

御代官石原太郎左衛門殿ヘ参リ吉利
支丹ニ立帰リ申ス通リヲ届ケ同日ニ
又帰リテ大矢野一同ニ宗旨ニ立帰リ
申候

一揆起リ候処四郎天草ヘ参リ候義ハ
十月十日ノ比ト覚ヘ申候大矢野ノ内
越浦ノ太郎助ト申ス者ノ所ヘ参リ候
其砌分ハ私ハ宿ニ不罷在候嶋原ノ事

一

出来仕候テ後越浦ノ者ヨリ藏々浦村
（杉本巻ノ落浦村ニ作ル非アリ）
私親傳右衛門所ヘ参リ
候其子細ハ四郎伯父宇右衛門ト申ス
者藏々浦ニ罷居申候其上四郎姉ハ吉
首村佐太郎女房ニテ御座候故右ノ仕
合ニ候惣テ四郎天草ヘ参リ候儀ハ前
後三度ナラテハ無御座候事

一

四郎嶋原ヘ切々参リ候多ハ終ニ承リ

一不申候嶋原町ニ傳石衛門ト申スモノ
御座候是ハ四郎親甚右衛ト申ス者ノ
姪聟ノ由物語承リ候事
一四郎奉公致シ候ヘト親甚右衛モ私モ
申候ヘ共十五六歳ノ内ハ吾身自由ニ
仕ル事不罷成候間四郎ヲ以テ奉公可
仕由申候是ハ何共合点不参候事
一私小右衛召捕ラレ候様子ハ嶋原吉利

支丹起リ十月廿五日ノ比軍御座候テ
其様子廿六日ニ口之津五郎作ト申ス者
湯嶋ヘ参リ申候処ニ同前ニ此（桜スルニ）前後術
（文段字アルカ文理解シ難シ異本モ又同意ナリ）吾等親傳右衛
藏々浦ニ居申候ヘハ四郎ニ好身御座
候ニ付彼藏々浦ヘ罷リ越シ申候ヘハ
五郎作湯嶋ノ清左衛門六七人参リ高
来ニハ面白キ様子出来四郎殿ヲ取持

申ノ由申越シ候何トテ油断候ヤ急キ
渡海仕り候ヘト申ニ付掃スルニ此間涵
理慮綿セス異本ニ行脱字アルカ文
イヘモス同然ナリ十月廿七日栖本ヘ
罷越シ御代官ヘ大矢野皆々吉利支丹
ニ立戻り候由相違シ廿八日ニハ肥後
ヨリ天草ヲ御蹈フミツフ潰シ被成候由取沙汰
候ニ付藏々浦ヨリ三角ヘ一両人遣シ
様子ヲ見セ申候ヘモ早船モ無之左様ノ

躰モ見ヘ末申夜中ニテ候間知レ不申
候由申ニ付定テ聡ト様子不見届モノ
ト存吾等小左衛門実正共通りニテ御座
候ヤ去り迚ハ加様ノ様子見届不申事
浅間敷存シ吾々廿九日ノ朝罷渡り候
然ル処ニ訳ノ者共ヘハ何迚参り候ト
云メ申候吾々申候ハ甲之浦異本江ニ作ル甲ヲ
彦左衛門ト申庄屋ニ些ト用事候テ参ヒ

申ニ度由申テ舟ヲ着ケ候ハヽ是ハ御
法度ニテ舟ヲ着ケス候間舟津浦ヘ着
ケ候ヘト申ニ付舟津浦ヘ参リ舟ヲ着
ケ小左衛太左衛大左衛ト云者虜（トリコ）ノ中ニハ乍三術文ラニ
孫上リ庄屋ヘ逢ニ申ニ度由申候得共
庄屋ハ留主ニテ逢ヒ不申候所ヘ鉄
炮ヲ持テ年比三十許ノ男五十斗ノ男
二人参リ御法度ニテ候間先々留リ候

一様子庄屋ニ可申聞由ヲ申又ニ付其
所ニ罷在リ候ラ十二三早速岩士郡奉行
衆御出成カレ吾々ニ被仰候ハ何トテ
参リ候ヤト御尋ニ付右ノ様子申候ヘ
ハ天草者ヲ留置如何ニ候ヘハ惣奉行
衆ハ申シ達シ御差次第ニ可仕ト被仰
暫ク御留置被召置候私ニ士衆数多御
出候テ吾等ニ縄ヲカケ候ヘト仰テレ

吊縄ヲ掛リ孫木ヘ参リ候其後跡ノ様
子ハ存不申候以上

寛永十五年
寅正月廿五日

天草之内大矢野庄屋 小左衛門

山田右衛門作口書之事

一寛永十五戊辰年二月七八日有馬原ノ古城

没落ノ刻 山田右衛門作ト云者小笠原右近
大夫忠政ノ手ニテ生捕ラレシ此者ノ元来
耶蘇宗門ノ賊徒ニハ非ズ去冬郡中騒動ノ
折柄己ガ在所口之津村ニテ一揆鬪ガ為ニ
妻子ヲ人質ニ取レシ故是非ナリ籠城ノ躬
ト成シナリ仍テ二月十八日有馬左衛門佐
直純手ヘ矢文ヲ射テ内忠節仕リケル所ニ
其謀相顕シテ四郎ガ為ニ虜トナリ城内ノ

松山ト云ニ所ニ押籠置レシヲ二月廿八日
落城ノ砌小笠原家ノ士何某生捕ケルナリ
上使 松平伊豆守信綱其次第糺明有ルノ上
弥科ナキ旨ニ決着ス然レ圧皈府ノ砌ヘ先
江府ヘ召連レラレ程ナク故郷肥前ヘ送リ
皈シ給ヒシトナリ彼者信綱ヨリ一揆ノ始終
尋アリシ所申上ル趣キ如レ左

山田右衛門作申口之覚

一今度嶋原吉利支丹発リ候次第ノ儀ハ
松右衛門喜左衛門源ノ衛門宗意山善
左衛門ト申者廿六年以前ヨリ天草ノ
内大矢野千束嶋ト申所ニ数年致山居
居有リ候処ニ去年丑ノ六月ノ中所分
ヨリ彼五人ノ者申廻リ候ハ天草ノ内
上津浦ト申ス所ニ住居仕リ候伴天連
廿六年以前 御公儀ヨリ御拂異国ヘ

被遣候剣伴天連書物ヲ以テ申置候ハ当年ヨリ九六年目ニ当ツテ天下ニ必善人一人出生スヘシ其稚子習ハサルニ諸学ツ究ノ天ニ験シメ現ハスヘシ木ニ饅頭ナリ野山ニ白旗リチ諸人ノ首ニクルスツ立東西ニ雲ノヤクル事有ヘシ諸人ノ住所皆焼果ツヘシ野モ山モ草木モ焼テ有ヘシキヨシ書置レ候由申候天草ノ大矢野四郎ト申ス者ヲ右ノ書物ニ引合セ考ヘ候ヘハ書物ノ通リニ不替候間扨ハ是天使ニテ候ハン事疑ヒナシト諸人ニ右ノ五人ノ者モ申廻リタリトモセ申候四郎生年十六歳ニ罷成リ候事

一吉利支丹起リ候時分ハ丑ノ十月十五日ノ比天地ノ動キ倶程ノ不思議成事

出来スヘシ其所皆々驚キ申間鋪ヨシ
五人ノ者申觸シ候了

一彼五人ノ者申ス如ク巳ノ十月中五日夜ニ入リ俄ニ吉利支丹ニ立帰リ村々ニテ頭立候者共談合仕リ所々ノモノ共ヘ御ノ人数ヲ相モヨヲシ候テ嶋原所々ノ代官並ニ他宗ノ出家吉利支丹ニ不成者共テ不残切殺シ在々所々ニ

引籠リ居有リ候事

一右ノ様子ヲ松倉長門守留守居ノ者共承リ大キニ驚キ人数三百余人花道具ニテ深江ト申在所ヘ押寄吉利支丹ノ者四十人程討取松倉人数城ヘ引取リ其所ニ吉利支丹ノ者トモ跡ヲシタヒ嶋原ノ城迄押掛ケ城際ニテ戦ヒ松倉人数城中ヘ引取門ヲ立ル所ヲ門ヲ打

破リ押入候ヘ共城中ノ者共防申候故
吉利支丹共ハ取リ町屋寺々不残焼松
面々ノ在所ヘ引入其以後ニ相談仕リ
候ハ四宗ヲ取立宗門ノ司ニ用フヘキ
ニシ皆ミ談合ヲ究メ天草ノ四郎所ヘ
村々ヨリ一人ツヽ使ヲ立申候ハ先年
宗門ヲコロヒ後悔ニ存候間今度四郎
ヲ吉利支丹ノ大将ニ仕リ宗門ヲ取立
可申由四郎方ヘ申遣シ候事

一 右ノ使ニ四郎申候ハ我等ト同心ニ候
ハヽ大将ヲ我等仕リ方々ヘ押寄セ宗
門ニ不成モノヲハ打殺シ宗門ヲ取立
可申候間何方ヘ我等取掛ケ申候共下
知ニ随ヒ可申ト被存候ハヽ人数ヲ書
立給ルヘキノ由四郎返事仕候則四郎
ハ大矢野宮津ト申所ニ人数七百人程

カメラヒ宗門ヲ立居有ル其後嶋原ノ
村々人数妻立四郎方ヘ遣候ヘハ人数
四五百一本百子作ナ人ニテ四郎嶋原ノ内大
江ト申所ニ居越シ翌日ノ談合ニハ先
長崎ヘ人数一万二千程ヲ二手ニ分ケ
日見峠茂木峠ニ人数ヲ差置キ長崎ヘ
使ヲ立宗門ニ可成候ヤ又成ル間敷以
ヤト申遣シ宗門ニ不成候ハヽ則長崎

一押寄セ大ヲ乏打殺シ其ヨリ嶋原ノ
城ヘ取掛可然ノ由四郎評定ヲ相究メ
打立ル所ニ天草ノ上津浦ト申所ヨリ
嶋原ノ内大江ヘ申来ルハ右ノ様子
寺沢兵庫頭留守居ノ者共方ヘ相聞ヘ
天草富岡ノ城代三宅藤兵衛ヲ先トシ
テ人数ヲ揃ヘ上津浦近所嶋子志柿辺
人数押寄セ候間早々加勢給リ候ヘノ

ヨシ四郎所ヘ申来リ候ニ付テ長崎ヘ
参候儀ハ先ツ差置キ千五百人程ニテ
四郎天草ヘ参リ上津浦ノ人数ト一ニ
成リ島子ニテ一戦仕リ唐津ノ人数ヲ
追立本戸ニテ麦ヲ殺シ村取申夫ヨリ
二日間ヲ置富岡ノ城ヘ取掛ニノ丸迄
押込候ヘ共兎角取リ候儀ハ成ラス
引退キ申候則島原ノ内口之津ノ町ヘ

一 四郎来リ候事
一 長門守江戸ヨリ島原ノ城ヘ参着ノ由
其上鍋島先手ノ人数佐賀領唐チト申
所ヘ参リ候ヨシ四郎承リ驚キ左様ニ
候ハヽ原ノ城ヘ取籠リ可申ノ由談合
相極メノ十二月朔日ヨリ村々ノ飯米
不残古城ヘ運ヒ入レ其上口之津村ニ
有之候長門守蔵ノ米五千石 一本ニ七百石ト記

一 程取入レ申候事
四郎儀ハ十二月三日ニ古城ヘハイリ
申候惣人数モ四日五日両日ニ男女不
残取籠リ申候城ノ普請ハ五廿六日ニ
皆々仕廻申シ候城中ノ小屋ハ七日八
日ニ悉ク掛ケ仕廻小旗幟ヲ立テ飾リ
一 申候事
一 同九日天草ヨリ人数二千七百程男女

迄ニ参リ籠リ申候天草ヨリ乗リ候テ
参候舟並ニ大江湊ノ舟何レモ打壊チ
城ノ岸裏ノ岡ニ仕リ上候三十挺立ノ関
船一艘ハ残置申候事
一 城中ニ籠リ候人数男女迄ニ都合三百
七千人御座候ヲ村切ニ方々ヘ手配ヲ
イタシ申候事
一 城中物頭ト申候ハ加津佐村助右衛門

一　惣右衛門　三平堂崎村治右衛門　久藏　三
會村治左衛次右衛門　六右衛門　有馬村
治右衛門　長助　久右衛門　布津村吉藏　太
右衛門　小濱村久左衛門　半山村太郎左衛
一　惣左衛門　有家村甚右衛門　清七　善四郎
安徳木場村久左衛門　角内　作右衛門　千々
石村大藏　五郎右衛門　口之津村甚左衛
門　甚吉　次郎左衛門　長右衛門　深江村勘右
衛門　作十郎　上津浦村市郎左衛門　七右衛
門　下津浦村治左衛門　大矢野村七右衛門
浪人玄察　以上三十五人但是ハ何レモ
村々ノ庄屋ニテ御座候事
其外軍奉行ト申候ハ芦塚忠右衛門以前有馬修理方ニ[illegible]有リ此年比五十六七　松嶋半之丞松倉長門守家中ニ相勤候者年七十程　有馬久意醫師年六十許　相津玄察大矢野村居住ヲ浪人年三十二歳　布津村天右衛門布津村庄

一 屋年六十四五以上廿人是ハ所々ヨリ浪人ノ由
ニ罷座候出所ハ存シ不申候事

一 十二月末日ノ城責ノ膧分ハ右衛門作
儀ハ請取ノ場ニ罷有り候事ハ不存候
正月朔日ノ城責ノ儀ハ十二月晦日ノ
晩ニ知レ申候ニ付城中共用意仕相待
居有り候故強り防キ申候城内ノ手負
死人十七人罷座候事

候事氏不吉ノ仕合トテカラ落ニ申候
皆ニ心弱リ申候右ノ手様ヨリ打申候
鉄炮ハ多分ハツレ不申候テ死人手負
数多出来申候事
右衛門作存候ハ右ノ仕合氏ニ付テ心
勇ニ不申折カラ有馬左衛門佐殿ヨリ
度々矢文ニテ仰越サレ候ハ其方儀ハ
譜代ノ者ノ儀ニ候間城中ニテ一手立

致シ忠節可仕ノ旨被仰越候ノ間否ト
御返事申シ帰手前ニ付キ候人数七百
御座候テ五人内ヽニテ申合セ候ヘハ
同心仕リ候間廿一日ニ我等請取ノ場
三ノ丸ヨリ寄手衆ヲ引入レ火ヲ上ケ
申セ乗リ取セ申其隙ニ四郎方ヘ参リ
寄手ノ衆城中ヘ乗リ込ミ火ヲ上ケ申
候間早々城中ノ御出候ノ手ヘ落船ニ

一　二月廿一日ノ夜討ノ儀ハ大江口ヨリ
二千人此内千四百人松平右衛門佐殿
仕寄ヘ六百人寺沢兵庫頭殿仕寄ヘ出
一　丸ヨリ千人鍋嶋信濃守殿仕寄ヘ三九
ヨリ五十人一本五百人ト記ス非カ立花飛騨守殿
一　松倉長門守殿仕寄ヘ掛リ申候一本ニ山下ニ
都合三千四百人本中ニト記ス恐リハ非ナラン城中手負死人
四百三十人此内百三十二人城内ヘ引

取リ申候此時石衛門作儀ハ矢文ノ儀
顕シ縄ヲ掛リ松山ノ出丸一本松丸ノ（松山ト記ス）
居有リ候故委細ノ儀不存候事
一城内ニ鉄炮ノ数五百三挺有之玉薬
正月廿日末ヨリキレ申候間無リニ打
不申候併打々ハ嗜ニ置候テ廿七日ニ
打申候事
一城中ノ粮米正月廿日比ヨリ不足仕リ
二月十日比ヨリキレ申候テ諸勢一日
ニ迷惑申候去十カラ少々ツヽ持候者
モ御座候事
一石衛門作儀ハ四郎家老分ニ仕リ玉薬
矢文其外万事差引仕ラセ候事
一城中ヘ籠候浪人四十人御座候年比ハ
五六十許ノ者ニ御座候軍ノ手立
欤ノ見計ヒ差引仕候牢人何方ヨリ

籠リ申候モ在所ノ儀ハ不存候事
一四郎本丸ニテ発シ打手居有リ候処ニ
一鍋嶋殿井楼ヨリ石火矢参リ四郎左ノ
袖ヲ打抜其玉ニテ四郎傍ニ居有リ候
男廿五六人打殺シ申候城中ノモノ共
存候ハ御名誉可有之ト頼モシリ存ル
居有リ候所ニ四郎ヘ加様ニ鉄炮ニ
中リ其上傍ニ居有リ候者多ク死亡申

棄リ候テ一先何方ヘモ引退可然由ニシ
四郎ヘ申候テ謀ヲ以テ船ニ乗セ候テ
生捕御忠節仕ヘキト存定メ候テ二月
十八日ニ右ノ通リナ左衛門佐殿手ヘ
矢文ヲ射申候所ニ矢文御見付ケ無之
候処廿一日ノ手筈合不申不審ニ存シ
居有リ候ヘハ左衛門佐殿ヨリ矢文ヲ
廿一日ノ晩御射サセ被成候ヲ城中ノ

者𪜈見申候其書中ニ十八日ノ矢文
屋ク見付ケ候故手筈相違申候間是テ
日限ヲ相究メ又矢文射可申ヨシ御越
被成候ヲ城中ナモノト𪜈不審ヲ立テ
右衛門作儀心替ト相見申候ト四郎ヘ
申シ我等ニ縄ヲ掛ケ松山ヘ遣シ置申候
去ル七日ニ本丸ヘ連シ寄セ置申候我等
女房子𪜈等ハ九七日ニ本丸ノ追手口

外形ノ内ニテ切レ候我等儀ハ縲ラレ
居在候処小笠原右近大夫殿内衆又出
ニ読ニ切ント仕候ヲ右衛門佐殿ヨリ
被下候矢文𪜈見申候ニ付不忠儀ニ
命助リ被生捕参候以上
寅三月十七日
掛スルニ右ノ書面疑ニキ旨趣ナトアツ
寇中小笠原忠政ノ士右衛門作ヲ斬ランニ
トロニ肥後有馬直純ヨリ内通ノ矢文ヲ被
士ニ見セレトテ之ハ不審ナリ既ニ右衛

川作久霞ノ謀ヲ名モ三故ニ一揆ヨリ是ヲ
而侍シ牢舎モシハル程ニ於テ何ノ彼内
通ノ書シ渠ニ持シメ置ヘキヤ其上城中
壘ノ場ニ至ッテ此刻ヲ後ス問答モ叶フ
ヘロラ久後ノ
哭者是ヲ思ヘ

耶蘇天誅記附録巻之三終

耶蘇天誅記附録巻之四

目録

従松倉家上使衆江書上之写

耶蘇天誅記附録四

肥嶋嵩　村井昌弘輯録

従松倉家　上使御江戸書上之事

一寛永十五戊寅年三月二十三日　上使松平伊豆守信綱戸田左門氏鉄両将ヨリ仰セニ依テ松倉長門守カ家老共ヨリ嶋原ノ城内ニ是アル所ノ大小発熕大小鳥銃ノ員数巨細ニ書記ニ差出シタル紙面ノ寫如左

覚

一 五十八挺　石火矢大小
一 二十四挺　長筒大小
一 百五十四挺　異風大小
　合二百三十六挺
一 六百一挺　可用立筒大小色々
一 百十六挺　不用立筒大小取交
　但是ハ臺城之内損物

一 三百挺　上方江上候筒大小
一 百四十二挺　異風長筒大小取交
　但此筒ハ最前目録上候内之筒也
　合千百五十九挺
右之通相改申候以上
　寅　正月二十七日

按スルニ是レヨリ先キ鉄炮大筒ノ員数目録
松倉家ヨリ上使ノ侍方ヘ差出シタリト
アレトモ其書面今存
セサルカ故ニ載セス

寛永十五戊寅年正月廿日時ヲ以テ被 上使
泉ヨリ仰付ラレ嶋原ノ城中ニ相蓄ル所ノ
石火矢筒并ニ鉛丸銃薬等鍋嶋細川黒田ノ
諸家ヘ相渡スヘキノ上意ニ依ツテ嶋原ヨリ
差出シタル員数左ノ通り

覚

一 六百目石火矢五挺　鍋嶋信濃守
一 同目ノ鉛玉百個　同人
一 合薬五十貫目　同人
一 六百目石火矢五挺　細川越中守
一 同目鉛玉百個　同人
一 合薬五十貫目　同人
一 六百目石火矢三挺　松平右衛門佐
一 同目ノ鉛玉百個　同人
六百目玉百個　鍋嶋内多久美作
一 薬二千斤　同人

一 薬二千斤
一 八十目玉百個
一 石火矢二挺
以上
右之通相渡申候以上
寅二月
同家 須田弥左衛門
中坊長左衛門
寺沢左庫亮

或説ニ云右ノ品々ハ大坂ノ陣ノ城内ヨリ
陣取寄セ有リシト云又加藤肥後守忠廣
没収ノ鉄炮嶋原ノ城ニ預ケアリシト云
擬スルニ松倉家ハ数代武備ニ長ス然レ
ハ此品物ハ元来松倉カ家ニ蓄
ル所ノ物カ又別ニ拠トコロモ侍ルヤ
寛永十五戊寅年三月上旬上使両将ヨリ
陣差図アリケルハ今度吉利支丹一揆ニ徒
黨シタル村々ト徒黨セサル村々ト其差別
ヲ相改メ人数並ニ竈数ニ至ルマデ審カニ
書キ記シ差上ヘキノ旨ナリシカハ同月十日
松倉カ三人ノ家老ヨリ　上使松平信綱
戸田氏鉄両将ヘ差上ケタル目録ノ写ニ通

地本
吉利支丹立帰村々人数之覚
並ニ竈数之覚

一人数二千六百二十六人　三會村
内
千四百二十四人　立帰百姓
内
六百八十五人男
七百三十九人女
千二百二人　残止百姓
内
六百二十七人男
五百七十五人女
此竈数五百八軒
内
二百六十八軒　立帰百姓
二百四十軒　残止百姓

一人数八百十三人　嶋原村
内
四百二十五人　立帰百姓
内
二百廿五人男
二百人女
三百八十八人　残止百姓

一 人数六百八十六人
此竈数百四十七軒
内 二百十三人 男
百七十五人 女
内 七十三軒 立帰百姓
七十四軒 残止百姓
内
百八十四人 立帰百姓
内 百三人 男
八十一人 女
此五百二人 残止百姓

安徳村

一 人数七百十九人
此竈数百十五軒
内 二百七十一人 男
二百三十一人 女
内 二十六軒 立帰百姓
八十九軒 残止百姓
内
六百三十五人 立帰百姓
内 三百三十五人 男
三百人 女
八十四人 残止百姓

中本場村

内　五十一人男
　　三十三人女
此竃数九十九軒
内　八十五軒　立帰百姓
　　十四軒　残止百姓
一人数千八百二十四人
深江村
内
千六百四十人　立帰百姓
内　八百五十三人男
　　七百八十七人女
百八十四人　残止百姓

内　九十四人男
　　九十人女
此竃数三百十六軒
内　二百七十七軒　立帰百姓
　　三十九軒　残止百姓
布津村
一人数千百五人
不残　立帰百姓
此竃数百九十六軒
内　五百八十人男
　　五百三十三人女
一人数八百六十五人
堂崎村

不残　立帰百姓
内　四百七十人 男 / 百九十五人 女
此竈数百八十三軒
一　人数四千五百四十五人　有家村
不残　立帰百姓
内　二千二百九十三人 男 / 二千二百五十二人 女
此竈数七百
一　人数五千百七十二人　有馬村

不残　立帰百姓
内　二千六百六十四人 男 / 二千五百八人 女
此竈数八百二十七軒
一　人数
不残　立帰百姓　口之津村
内
此竈数
一　人数　加津佐村

不残　立帰百姓

内

此竃数

一人数千九百六十二人　串山村

不残　立帰百姓

内　千四十一人男
九百廿一人女

此竃数二百九十二軒

一人数千四百六十六人　小濱村

内

千百六十七人　立帰百姓

内　六百三十六人男
五百四十一人女

二百三十九人　残止百姓

内　二百四軒　立帰百姓
三十八軒　残止百姓

此竃数二百四十二軒

内　二百四軒　立帰百姓
三十八軒　残止百姓

一人数二千一人　千々石村

内
八百二十五人　立帰百姓
内
四百二十七人　男
三百九十八人　女
二千百七十六人　残止百姓
内
六百七十一人　男
五百五人　女
此竈数二百九十五軒
内
二百九十軒　立帰百姓
百八十六軒　残止百姓
都合人数二万七千六百七十一人

内
二万三千八百九十一人　立帰百姓
内
一万二千三百三十一人　男
一万千五百六十人　女
三千七百七十五人　残止百姓
内
二千六百七十三人　男
千七百十二人　女
都合竈数四千六百七十一軒
内
三千九百九十一軒　立帰百姓
六百八十軒　残止百姓
右之通御座候以上

田中宗夫
岡本新兵衛
多賀主水

寛永十五寅三月十日

或説ニ今度一揆ノ村方十三ケ村ニテ
惣人数二万六千九百八十五人也此内
二百四千八百四十二人一揆百姓二千
百四十三人残リ百姓尼其宜ヲ不知

吉利支丹不成村々人数之覚
並竈数之覚

一人数二百六十八人　東空閑村
内
百四十四人男
百二十四人女
此竈数五十二軒

一人数七百二十一人　大野村
内
四百七十人男
三百十四人女
此竈数百二十四軒

一人数七百四十人　湯江村
内
四百十一人男
三百九十九人女

此竈数百五十軒

一人数千二百八人
内 六百八十九人男
五百十九人女
此竈数三百十五軒
多比良村

一人数千百六十七人
内 六百七十五人男
四百十六人女
此竈数二百四軒
土黒村

一人数九百四十五人
西郷村

内 五百二十九人男
四百十六人女
此竈数百七十三軒

一人数八十四人
伊福村

内 四十四人男
四十人女
此竈数十二軒

一人数二百五十五人
三室村

内 百三十九人男
百十六人女
此竈数五十軒

一人数六百二十五人　守山村
内　三百三十六人男
二百八十九人女
此竈数百十九軒

一人数　山田村
内
此竈数

一人数三百二人　野井村
内　百七十八人男
百二十四人女
此竈数五十七軒

一人数二百四十八人　愛俣村
内
此竈数四十三軒

一人数八百八人　西古賀村
内　四百三十三人男
三百七十五人女
此竈数百四十九軒

一人数五百二十八人　日見村

内
三百八十一人男
二百四十一人女
此竈数百一軒

一人数千二百五十七人
内
六百九十一人男
五百六十六人女
此竈数百九十八軒
茂木村

一人数百九人
内
五十三人男
五十六人女
此竈数二十一軒
椛島村

都合人数一万八百九人
内
六千十八人男
四千七百九十一人女
都合竈数千九百六十二軒

右之通御座候以上

寛永十五寅三月十日
田中宗夫
岡本新兵衛
多賀主水

或説ニ今度一揆ニ不党村方十六ヶ村并ニ嶋原町民ニ惣人数一万八千四百七十一人内九千百五十九人男八千五百十二人女ト云其実ヲ不知

一寛永十五戊寅年三月、上使松平信綱・戸田氏鉄両将ヨリ嶋原城下町人ノ員数男女ノ差別ニ至ルマテノ巨細ニ書記シ差上ヘキノ由仰渡サルヽニ依テノ嶋原家老臣ヨリ同月十七日上使宛ヘ差出シタル目録ノ書面左ノ如シ

嶋原町人数之覚

一人数千八百八十六人

嶋原町船渠芝

一人数百二十七人
内
九百六十九人男
九百十七人女

櫻町

一人数二百三十人
内
七十人男
五十七人女

魚屋町

一人数千四百三十一人
内
百二十二人男
百八人女

有馬町船渠芝

一人数六百八十三人
内
七百三十九人男
七百二人女

三會本町

内　三百四十人　男
三百三十六人　女
日今町船津共ニ

一人数　五百一人
内　二百七十人　男
二百三十一人　女

都合　四千八百五十八人
内　二千五百七人　男
二千三百五十一人　女

寅二月十七日

或書ニ云此紙面ハ嶋原ノ城書衆小笠
原ム留峠ヘ差出シタル書面トモ云共
実ヲ不糺

一 或書中嶋原城内空地ノ由ニテ寅正月十三
日ト記セル一紙アリ後勘ノ為ニ左ニ記ス
今按スルニ此紙面ハ寛永十五寅ノ年騒動
ノ節若　公儀ヨリ御尋モ有ルヘキ歟ト松
倉カ家老氏内々差心得テ扶持人ノ大工氏
ニ申付ケテ城内空地ヲ改メ置シ書面ト見
ヘタリ

城内明地之覚

一本丸花畑南北二十間東西九間
一二丸馬屋前東西二十六間南北拾間
一三丸東西五十間南北二十五間
一武者屯東西七十間南北二十五間
一細工所之道南北五十間東西三間
一大工小屋東西二十九間南北二十間
一馬屋丸南北百二十間東西五十四間
以上

寅正月十三日　大工五郎助
　　　　　　　同　作助
田中宗夫老
多賀主水殿
岡本新兵衛殿

一或書中吉利支丹始ノ一揆人数ノ覚ト記シテ年月ヲ不載一條アリ其由来モ不審多シトイヘ氏治助ノ為ニ記シ貽ス

吉利支丹始ノ之一揆人数之覚

一人数　六百五十六人　三會村
一人数　四百三人　島原村
一人数　二百十四人　中木場村
一人数　三百十人　小濱村
一人数　五百六十人　千々石村
合二千百四十三人
内　千八十三人男
　　千六十一人女

按スルニ是レヨリ先寛永初ノ年間度々
儀定ノ事アリ若ニ然ル甲ノ事嗚カ令
度寛永甲寅両年
ノ事ニハアラシ
或書中島原領分道法之事ト記ニ二ノ松倉長
門守重政後ニ勝家ト領内順見ノ節是ヲ改
改メタルカ
ル由ヲ疑フ今ノ按スルニ其道法享保元文ノ
當時ヲ以テノ勘考スルニ艱難多シトイヘモ古
ヲ察ルノ助ケトセン為ニ記ス

島原古町札辻ヨリ

一 安徳村天神屋敷北ノ川 一里

一 深江村上道中道辻百間北 一里

一 布津村北ノ松原ノ本 一里

一 堂崎村濱ノ上リ口松原ノ本 一里

一 有家村町ノ外川ヨリ五町南 一里

一 有馬村町ノ中北 一里

一 同村大江ノ橋ヨリ北ノ山端 一里

一 同村荒川山茶屋ノ本 一里

一 加津佐村カイ瀬塩ヨリ堤 一里

一 同村宮原坂ノ口 一里

一 串山村標栗嶺ノ茶屋下ノ平 一里

一 同村飛子原茶屋ノ前 一里

一 小濱村湯本 一里

一 同村ツタ坂ノ上ヘ茶屋 一里

一 千々石村町ノ出口 一里

一 愛津村原ノ中北 一里

一 山田村阿田己ノ年開キ田ノ本　一里
一 寺山村ノ北ノ端三室境　一里
一 伊福村沙蔵ノ北薬師ノ本　一里
一 神代村上道寺ノ本　一里
一 土黒村下原出口　一里
一 大野村馬場右井寺ノ口　一里
一 三會町跡橋二ツノ間　一里
一 北船津沙宮西ノ方　一里

一 嶋原古町札ノ辻　拾町四十五間

合二十四里拾町四十五間

酉霜月二十五日

橋仏治兵衛
林小左衛門

田中宗夫老
多賀主水殿

按スルニ酉ノ年トアルハ寛永十年癸酉ノ年カ此年長門守入部セラレ郷中順覧有リ 三巡

耶蘇天誅記附錄卷四終

大日本帝國圖書之印
日本政府圖書
国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan